

マダラナニワトンボ

Sympetrum maculatum

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧ⅠB類(EN)

種の概要

腹長21～24mm、後翅長25～28mm程度。黒色に淡黄色斑を有する黒っぽいアカネ属のトンボで、ナニワトンボに似るが、翅の基部は橙色を帯びることで区別できる。平地から丘陵地の抽水植物が繁茂し、遠浅で開放的な樹林に囲まれた水質のよい池沼などに生息する。幼虫は水深の浅い部分の砂泥上にうずくまっている。成虫は7月～11月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州

県内分布記録

神戸市、姫路市、加古川市、西脇市、小野市、加西市、加東市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○	○	○

特記事項

2016年を最後に、県内での発見が途絶えた状態にある。みかけの環境が変化していない場所での消滅が各地で見られてきた。全国的な調査では、そういった消滅生息地においては、ネオニコチノイド系農薬やその誘導体の濃度が高まっていることが報告されている。この農薬は地下水に浸透し生息地に流入することもあるといわれている。最後と思われる本種生息地でも、環境の変化が見られないのにほぼ1年で突然壊滅状態になった。県内で絶滅している可能性は高いが、今しばらくようすを見守る必要がありAランクにとどめている。

保護上の留意点